

高知県水道広域支援組織 について

1. 第1回検討委員会からこれまでの経緯

- ・ 管路設計・布設工事に対する発注支援業務、工事監理・設計監理業務を主な業務とした組織の設置を検討



最も大きな課題は、実施者の確保

- ・ 業務委託料により派遣職員の人件費を賄うことを前提条件に、各市町村に対し人材派遣の可能性の有無を調査



ほとんどの市町村から代替人員が確保されないと派遣は困難との回答

2. 水道広域支援組織について

公益社団法人高知県建設技術公社の現体制の範囲内で、**水道業務に対応**

3. 令和6年度の業務内容

まずは「管路布設工事の発注支援業務（積算）、施工監理（監督）」から始める

「単独の市町村での発注では事業規模が小さく契約に繋がらない業務等のとりまとめ発注」についてもニーズがあれば、業務内容によっては**相応の準備期間を要するが対応可能**

4. 令和6年度発注意向と新たなニーズ（とりまとめ業務）の調査 （R5.10月実施）

- ・ 来年度の支援組織への発注予定の有無とその内容、発注予定時期
 - ・ 複数市町村での業務のとりまとめ発注のニーズ
- について全市町村に対し調査を実施

（1）来年度、積算・施工監理の業務を発注予定..... 1市町村

「**発注する意向はあるが**、支援組織がどのような体制となるか、どのような手順や業務内容となるかなど**事例を見てから検討したい**」との回答も複数あった。まずは、来年度に実施予定の業務をモデルケースとして、**成果の内容や感想を共有**

（2）新たなニーズ

AIや人工衛星を利用した漏水調査業務.....7市町村
水管橋・添架管の点検業務.....7市町村
水道業務に係るアプリケーションの共同開発.....6市町村

スケールメリットの出やすい漏水調査や、点検頻度が法で定められた水管橋・添架管の点検などについて検討

5. 令和6年度以降について

(1) 令和6年度の発注について

モデルケースとするためにも、複数市町村からの発注をお願いしたい

例年1月ごろに市町村の土木部署等に対して公社の発注予定調査があるが、令和6年1月の調査からは**水道部署にも照会**していただく予定

発注を検討していただける場合は年内に県にご相談ください

(2) 令和7年度以降の発注について

令和6年度の業務実績については、予算時期までにお伝えする予定
発注を検討していただける場合は随時県にご相談ください

6. 今後の展望及び人材確保について

(1) 水道広域支援組織について

長期的な業務量及び人材確保が実現できれば、規模（体制）の拡大を検討

(2) 業務内容の拡大

管路布設工事の発注支援業務（積算）、施工監理（監督）からスタートするが、業務のとりまとめ発注など、一定のニーズが確認できた業務内容について新たに取扱うことを検討

ただし、新たな業務の発注に必要な情報の準備や課題の整理等、**相応の期間が必要**

(3) 将来の人材派遣のお願い

規模や内容を拡大する際は、**各市町村からの人材派遣・OBの紹介等**について、ご協力をお願いしたい